



少しずつ気温が上がり、暑い日が増えてきましたね。そんな時に食べたくなるのは喉ごしが良いそうめんや冷や麦！

しかしこの2つ、見た目はそっくりですが違いをご存じでしょうか？

実はこの2つ、材料は同じ。小麦粉を塩水でこねて生地を作っているのです。違いは麺の太さにあります。

日本農林規格(JAS)の乾麺類品質表示基準によると、【そうめん：長径1.3mm未満】、【ひやむぎ：長径1.3mm以上1.7mm未満】となっています。※機械製麺の場合

最近では、家庭で手軽に流しそうめんができる「流しそうめん器」が多機種発売されています。暑い日は自宅で気軽に涼を楽しむのもいいですね。

DUCTILE TIMES編集部

### DUCTILE TIMES バックナンバーが閲覧できます

弊社ダクトイル鉄管ホームページでは過去のDUCTILE TIMESの閲覧が可能です。

下記URLより是非ご覧ください。QRコード

[[https://www.kubota.co.jp/product/ironpipe/products/lineup/necs/ductile\\_times.html](https://www.kubota.co.jp/product/ironpipe/products/lineup/necs/ductile_times.html)]



### 弊社の取り組みをご紹介します

## モニタリングシステム

### 遠隔で工事現場の進捗管理可能です！

- 可搬式の専用カメラで現場画像を遠隔地からリアルタイムで閲覧が可能。
- 現場画像はサーバーに蓄積され、後からでも工事状況の確認が可能。
- 夜間や複数の工事現場の監督業務の負担を軽減。
- インターネットにつながる環境であればどこからでも閲覧可能。



工事の状況を遠方からリアルタイムで確認できます。



タブレットやPC等で施工現場の状況を確認可能

※モニタリングシステム本体はリースでのご提供となります。

新製品

## GENEX(GX形)に 呼び径450が追加されます！

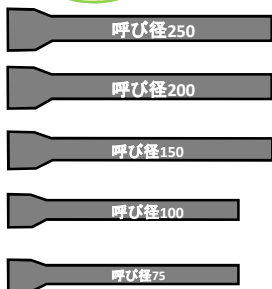
お待たせいたしました。まもなく、GENEX(GX形)のラインアップに呼び径350に続いて新サイズの呼び径450が登場します！今秋を目標にJPA規格化を目指しており、販売についても今秋より受注開始の見込みです。

呼び径450を含め、呼び

径75～450までGENEX(GX形)で統一していただけになりました。また今後、呼び径450のGX形パタフライ弁もラインアップを予定しております。

詳細については、弊社営業担当までお問合せいただけますようお願い申し上げます。

ココを  
拡充



## 久保田権四郎History (水道編①)

明治の文明開化とともに、海外からコレラなどの伝染病が流入し、全国へ蔓延。多くの死者を出しました。

この対策として、政府は水道施設整備を提唱し、1887年より近代水道の開設を各地で推進。大阪市では国産鉄管の採用を決定し、大阪砲兵工廠に鋳造を依頼するも製造は難航。水道の将来性、そして国益のために、鋳物工場を営んでいた創業者・久保田権四郎は水道用鉄管の国産化を開始します。

当時、国内の水道管はすべて輸入に頼っていました。さまざまな企業が国産品製造を試みるも失敗に終わります。その理由は薄くて長い鉄管(直管)は鋳造時に厚さが偏りやすく、高い水圧に耐える品質を実現するノウハウがなかったためです。

しかし、権四郎は「外国人にできることが日本人にできぬはずがない」という強い信念で試作と改良を繰り返すこと約4年、ついに「合わせ型斜吹鋳造法」を開発し、口径約10cmの直管の製造に成功。文献も経験者もない中、手さぐりで試行錯誤してきた技術が評価され、次第に鉄管の注文が増えていきます。

(DUCTILE TIMES 8月号につづく)



【明治38年頃の弊社鉄管出荷場】